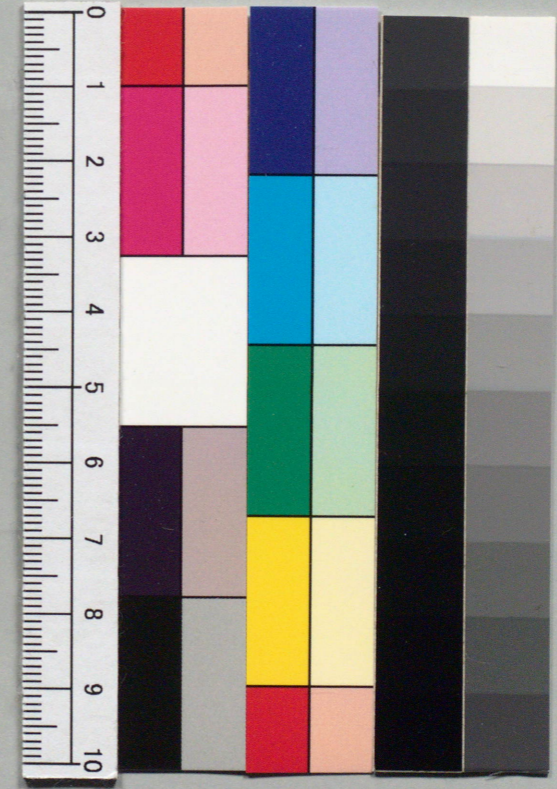


貴重書

東京大正博覧會  
琦玉縣出陳寫真帖





貴重書





貴重書

L606-廿

東京大正博覧會  
琦玉縣出陳寫真帖



貴重書

緒言

東京大正博覽會に於ける、埼玉縣出陳の種類は倭米、米、麥、大豆、製茶、繭、生絲、蠶種、甘藷、百合根、薑、大和芋、織物、經木眞田、麻眞田、行田足袋、箆筒、小川製紙、鴻巣雞、川口鑄物、酒、醬油、味噌、菓子、竹木材、苗木、雞の二十六種にして、其點數實に三千八百有餘に達し、之か詳細は素より一小冊子の得て悉す所にあらず、故に是等を包括したる陳列場を撮影し、之に簡單なる説明を附して、唯其概況を知らしめんと欲するのみ。

大正三年三月二十日開會の日識るす



ガラス使用









米

米の産額は約百萬石、價額二千五百萬圓に達す、而して北足立郡の東北部、南埼玉郡、北埼玉郡及北葛飾郡は其主産地なり。又大里郡熊谷町附近より産する石原米は品質良好佳味を以て聞え。北葛飾郡二合半領に産する白早稻は早稻を以て其名夙に高し。

麥

本縣農作物中栽培法改良の效果最も著しきものは大麥なり。年産額約百五十萬石、價額一千四百萬圓を越ゆ。北足立、入間、南北埼玉の諸郡産出最も多く、中には一段歩六石の收穫量を見るものあり。

大豆

大豆は縣下到處に産出す。年産額二十二萬石、價額二百萬圓にして、其用途極めて廣し。





俵米

俵装の改良は縣の最も苦心せる所にして、縣下の事情と實益とを基礎とし、近時其標準俵装を作成して、之を縣下一般に示せり、茲に撮影せるは即ち此標準に據りて作り出陳せるものなり。





蠶種

本縣の蠶絲業は全國中第四位にあり。蠶種の年産額は約二十五萬枚・價額六十八萬圓に達す。兒玉、秩父、入間の諸郡は其生産最も多し。

製茶

製茶の年産額は約七十二萬圓にして、入間郡元狭山村附近一帯の地より産す、狭山茶は古き歴史を有し、香味最も佳良なり。





繭

繭の年産額は二十六萬石、價額九百萬圓なり。而して兒玉郡本庄町は本縣唯一の繭集散地たるのみならず、全國中其右に出づるものなく、毎年の取引額實に百五十萬圓の巨額に達す。

生絲

本縣は繭の産額多く且つ關東及東北地方より輸送の便あり、以て製絲工場を設くる者多し。又近年所謂上州南三社の内碓氷社及甘樂社に屬する共同生絲揚返場に於ては、産業組合法に據り機械製絲場の設置を企つる者漸く増加せり、從て製絲年産額十八萬餘貫、價額一千萬圓の多き上る。





蔬菜

縣の東南部よりは各種の蔬菜を産し、多くは千住、神田等の市場に鬻ぐ。今回の出陳は甘藷、百合根、薑、大和芋の四種類にして就中本縣の甘藷世既に定評あり、其生産價額は三百五十餘萬圓なり。又百合根は本邦輸出園藝品の一にして、其生産額三千五百塊、七十五萬圓に達す、兒玉郡は其栽培最も多く、近時直輸出を爲すに至れり。薑、大和芋は品質良好を以て其名夙に顯はる、薑は静岡地方に、大和芋は東京人士に賞用せらる。

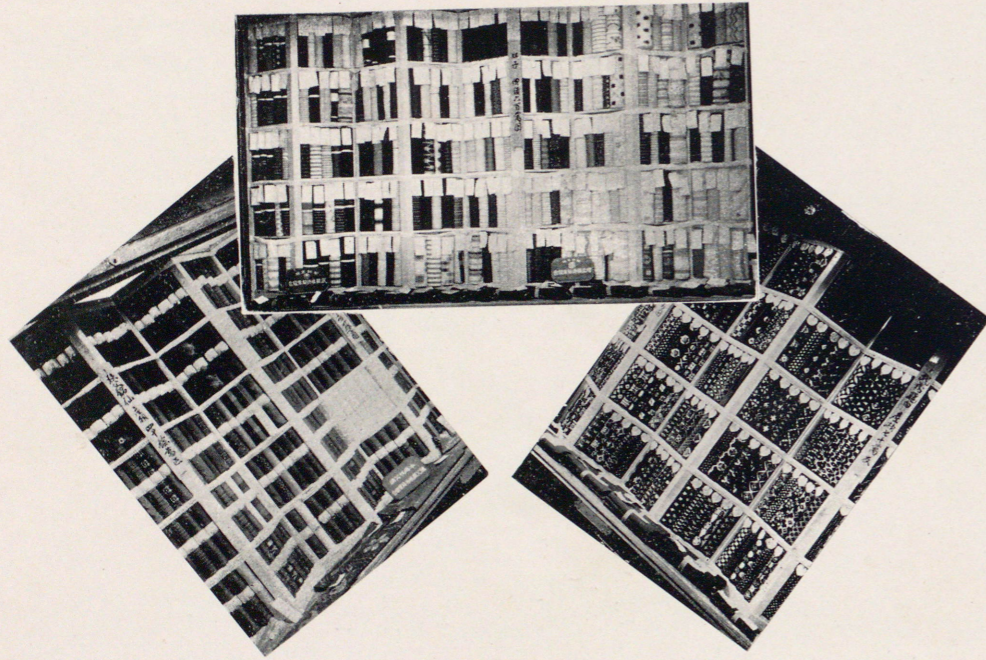




### 絹織物

織物は本縣工産物中の主たるものにして、總産價額約千六百萬圓に達す、其内絹織物は秩父郡に秩父銘仙、入間郡に飯能銘仙を産し、又入間郡に斜子、入間比企秩父の三郡に生絹を産す、而して秩父銘仙は近來染織方法に改良を施せしを以て染織縞柄共一段の進歩を現はし漸次需用を増加しつゝあり。次に生絹は入間郡の西部に産するものを越生絹と稱し品質良好なり。絹織物の年生産價額は五百七十有餘萬圓なり。





絹綿交織物

絹綿交織の主産地は入間郡所澤町、北足立郡大宮町附近とす。近來染織方法著しく進歩し、染色縞柄共一般に改良せられ、需用頓に増加しつつあり。年産價額百九十餘萬圓に達す。

綿織物

綿織物は雙子織を北足立郡より、入間郡より飛白木綿を、北埼玉郡より青縞、又同郡及南埼玉郡より白木綿を産す。而して雙子織の主産地は北足立郡殿町附近、緋木綿の主産地は入間郡所澤町附近にして所澤飛白と稱す。年産價額は七百七十餘萬圓なり。





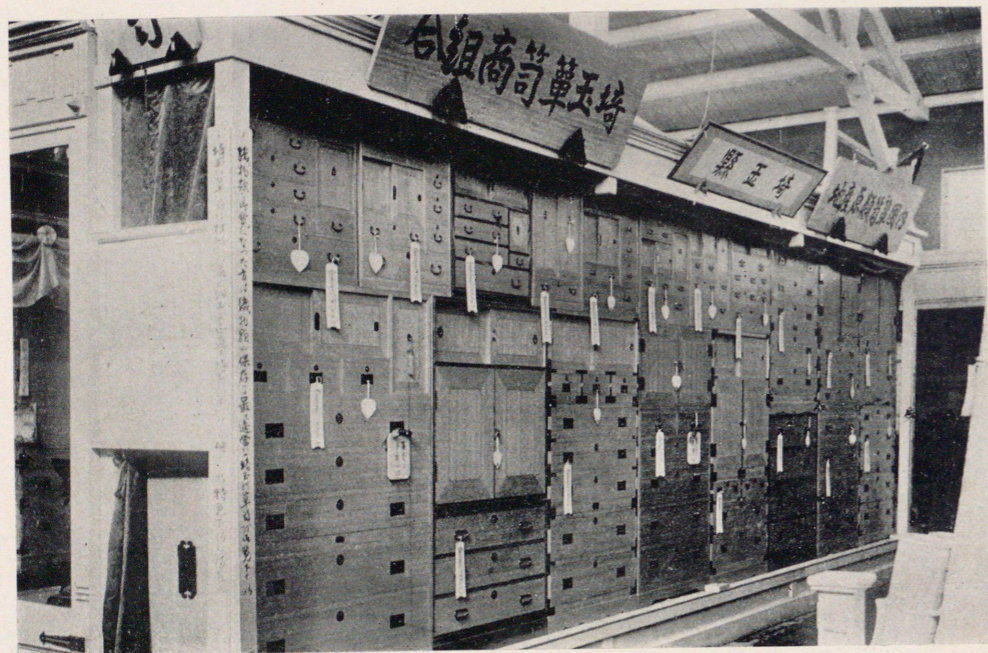
### 行田足袋

行田足袋の製作は起源甚だ古く其名全国に汎し、近年製造方法に改良を加へ機械力を應用せしを以て、製造額頓に増加し最近の産額千五百萬足、價額三百萬圓を越ゆるに至れり。

### 經木眞田、麻眞田

經木眞田、麻眞田は農家の副業として、南埼玉郡粕壁町附近より産出す。年産額約九萬圓なり。





簞笥

簞笥は本縣特産物の一にして、年産額約一萬二千組、價額三十萬圓、北足立郡鴻巣町・入間郡川越町、比企郡野本村、南埼玉郡岩槻町、粕壁町附近は其製作最盛なり。



酒

酒は殆んど縣下各地に産せざるなく、其醸造近年著しく發達して大正二年の造石高八萬九千餘石、價額四百五十萬圓を算し、將來最も有望の工産品なり。

醬油

醬油は最近一箇年の醸造高三萬七千餘石、之に自家用を加ふるときは、約五萬石、價額百二十萬圓に達せり、特に最も盛なるは北葛飾郡松伏領村、彦成村、入間郡豐岡町、南古谷村等にして一箇年實に二千五百石以上を醸造するものあり。

味噌

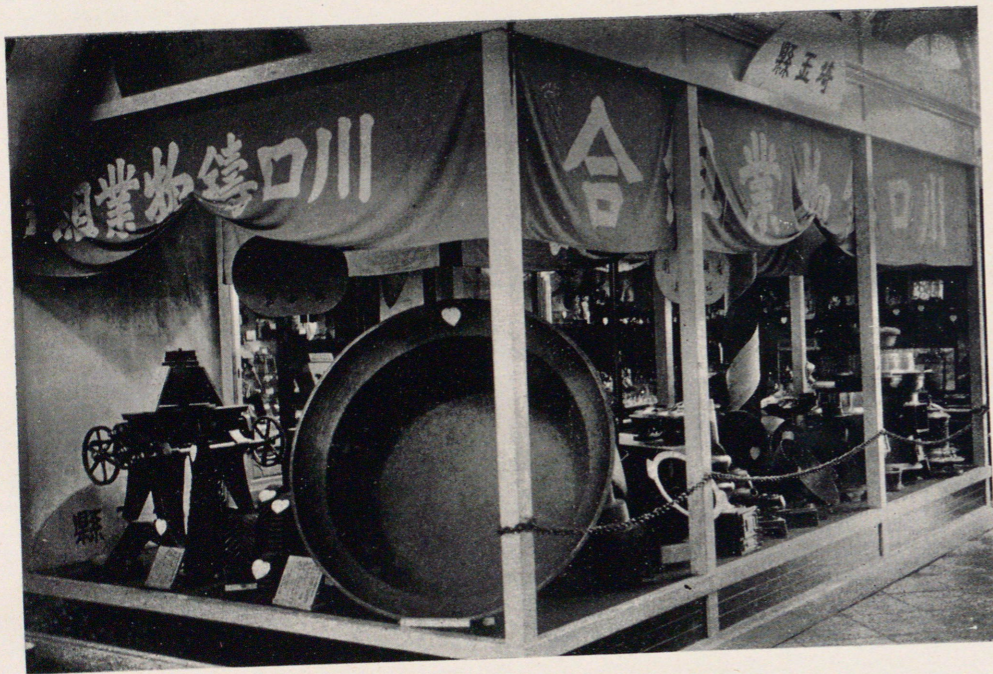
味噌は年産額百萬圓に達し、醸造者は各地に散在するも北足立郡南平柳村は其主産地なり。

菓子

大里郡熊谷町の五家寶、入間郡川越町の甘諸煎餅、北葛飾郡幸手町の鹽釜、さゞれ石等は本縣の名菓にして其味の美なるは既に定評あり。







川口鑄物

北足立郡川口町に於ては鍋、釜、鐵瓶、火鉢、五徳、風呂釜、ストーブ、鐵管、鐵柵、齒車、衝器附屬品其他各種の建築用鐵骨、勝手道具、室内用品等に至る迄鐵器にして殆んど産出せざるはなし。其年産額約百萬圓、價格の廉なる蓋し其特色なるへし。





鴻巣雛

鴻巣雛は古き歴史を有せる本縣特産品にして、屢々宮内省御買上の光榮に浴せり、其年産價額約六萬圓なり。





製紙

製紙は本縣特産品の一にして、比企郡小川町を中心とし、  
槻川、兜川等の諸川沿岸地に於て其製造最も盛なり、蓋  
し是等諸川の水源地は土質礦物質を含有し、自ら楮皮の  
洗滌に適するを以てなるへし。其年産額は六十一萬三千  
有餘圓に達せり。





### 竹材木

竹材及木材の年産価額は合計約六十三萬圓、秩父郡一帯は其主産地にして、木材の種類は杉、扁柏、赤松、樅、榲、栗、桂、檜、厚朴等なり。製材としては丸太、角材、挽材、鐵道枕木、車輛用材等より、包装用材、下駄材等に至るまで總て産出せざるはなし、西川材は其名風に著はる。

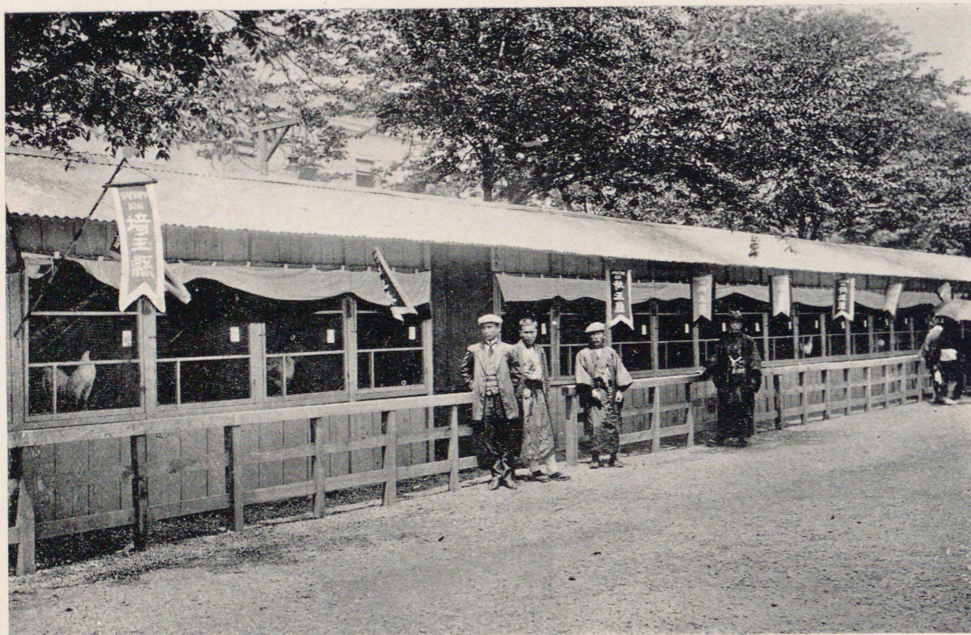




苗木

苗木は北足立郡安行村附近一帯の地及入間郡、兒玉郡の諸村に於て栽培せられ夙に其名あり、就申安行村は本邦有数の産地にして果樹、桑、造林用、垣根用、各種の苗木類及觀賞樹木、花卉類一として産せざるなし、其産額は年年五十萬圓を降らず。





家  
禽

家禽の現在数は約四十五萬羽にして、毎年十二萬羽内外  
を育雛し一箇年の産卵價額約五十五萬圓に達す。種類は  
「レグホーン」及「ミノルカ」を主とし、「プリモースロッ  
ク」の如き兼用種之に亞く。



貴重書

大正三年五月廿七日印刷  
大正三年五月三十日發行

埼玉縣

東京市日本橋區數寄屋町一番地

印刷者 田山宗堯



貴重書



貴重書

大正十三年十月

十日 坂市天と書す

すしとるん

一母一おーテ 晴とる

記す 杉野所か子之坊

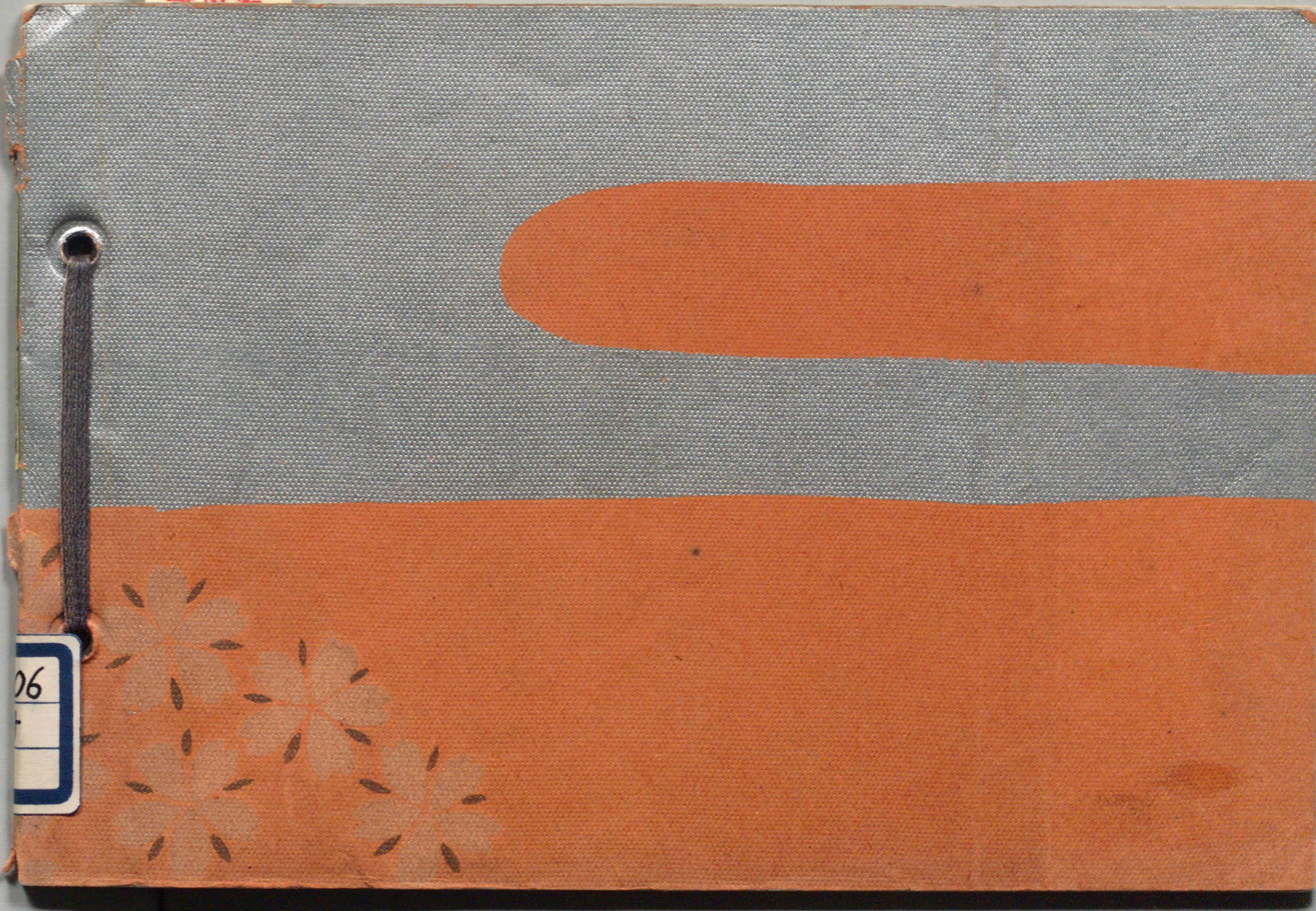
針井 正太郎 晴

とる 芳子 晴

書庫  
館内用



表紙裏



06